

生徒が進路に向かって動き出す

個別指導

今後約10年で、高校教員の3割以上が、

定年・退職を迎えるというデータに衝撃を受けました。

あわせて、若手の先生が続々と教壇に立ち、

活気あるクラス運営を担っていることと思います。

ICT教育をはじめとして、新しい学習指導が

意欲的に取り組まれていく傍ら、多様な価値観を

抱いている生徒たちの理解や保護者への対応を

はじめとした個別指導は、若手の先生にとっては

大きな不安要素となっているのではないのでしょうか。

生徒の自立を支援し、自らの進路選択に向かって

動き出すために欠かせない「個別指導」。

なかでも生徒一人ひとりと向き合う「面談」は

生徒理解を深め、生徒自身が自己決定できるように

なるための重要な機会だと思っています。

今回、明治大学の諸富先生のご協力を得て、

個別面談力を高めるための研修を企画し、

実際に先生方を対象に行っていただきました。

読者の先生方の学校でもぜひ実践していただきたい

という願いを込めて、校内研修実施にあたっての

ファシリテーションのポイントもまとめてみました。

あわせて日常場面での生徒への声掛けや担任を

サポートする体制やツールについてもご紹介しています。

ベテランの先生と若手の先生がぜひ一緒になって、

一体感ある学年づくりに役立てていただければ幸いです。

担

任

力

山下真司(本誌 編集長)